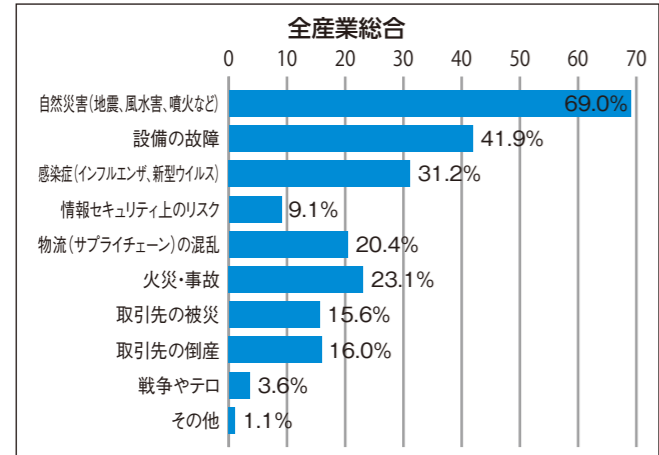


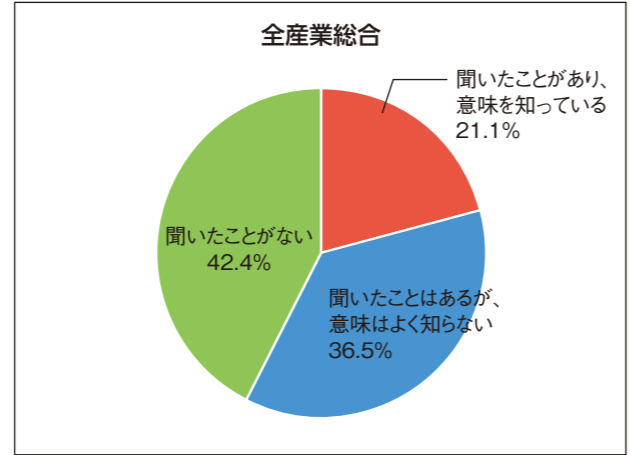
令和6年1月1日に発生した能登半島沖地震では甚大な被害が発生し、復旧には相当な時間が必要とされています。他にも毎年のようにゲリラ豪雨、台風などの風水害や土砂災害などの自然災害のほか、不穏な海外情勢やサイバー攻撃など、経営リスクが高まっています。そのような中、企業には危機管理が強く求められ、平常時から緊急事態に対する準備が必要となります。このような状況を踏まえ、今回は危機管理をテーマに特別調査を実施しました。

1. 事業の継続が困難になると想定しているリスクについて教えてください（複数回答）



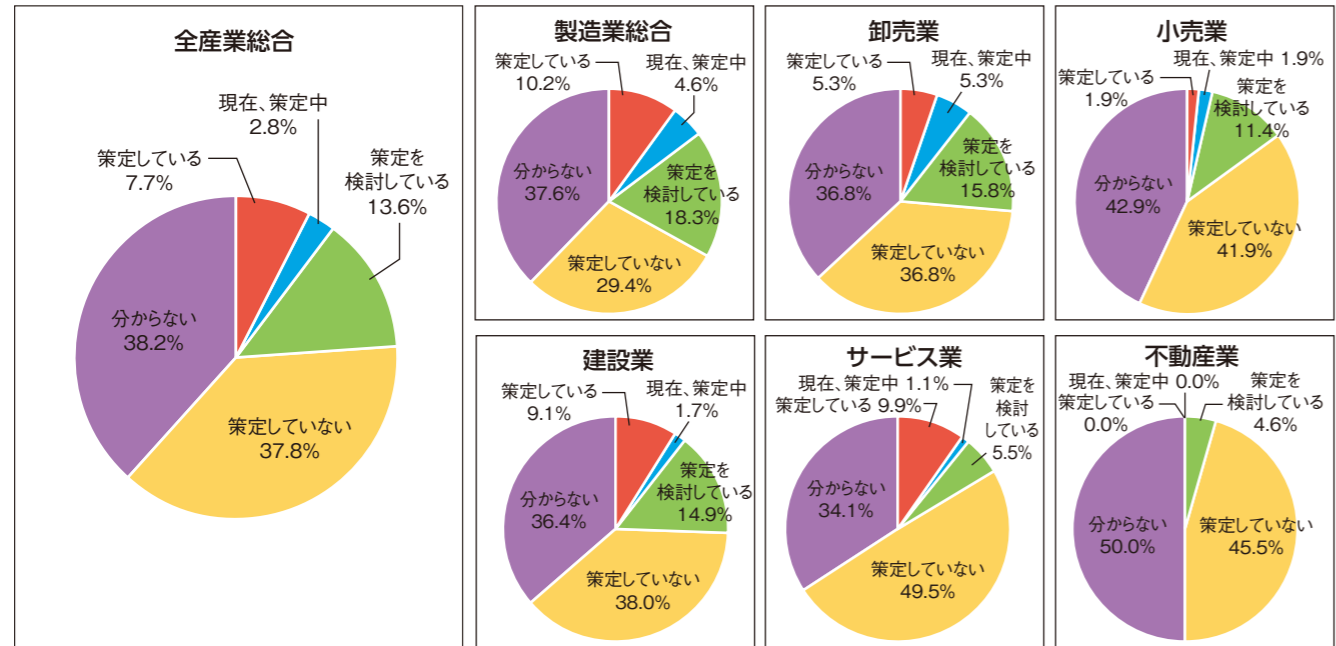
調査した全産業において事業継続が困難になるリスクとして、「自然災害（地震、風災害、噴火など）」の回答が69.0%と最も多い回答となった。次いで「設備の故障」が41.9%の結果となり、非常事態や設備の故障等、予測不可能な出来事に直面した場合に事業継続が困難になると想定していることが分かった。

2. 事業継続計画（以下、BCP）という言葉を知っているか



BCPについて「聞いたことがあり、意味を知っている」が21.1%にとどまり、「聞いたことはあるが、意味はよく知らない」「聞いたことがない」の合計が約80%を占める結果となった。BCPについて認知度が低いことが窺える。

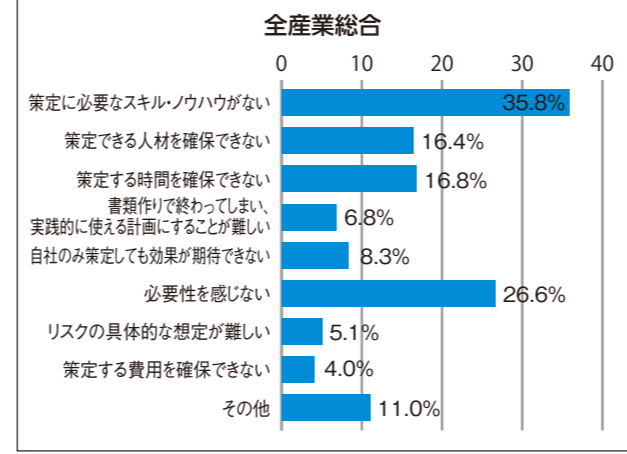
3. BCPの策定状況についてお聞きします



全産業においては、「策定している」「現在策定中」「策定を検討している」の合計が24.1%にとどまり、半分以上が「策定していない」「分からない」の結果となった。

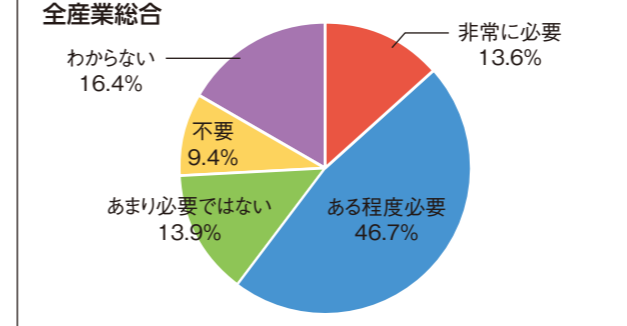
業種別においては、製造業総合の「策定している」の割合が大きく、生産活動に対しての影響を最小限に抑えたい考えがあることが窺える。

4. BCPを策定していない理由について教えてください（複数回答）



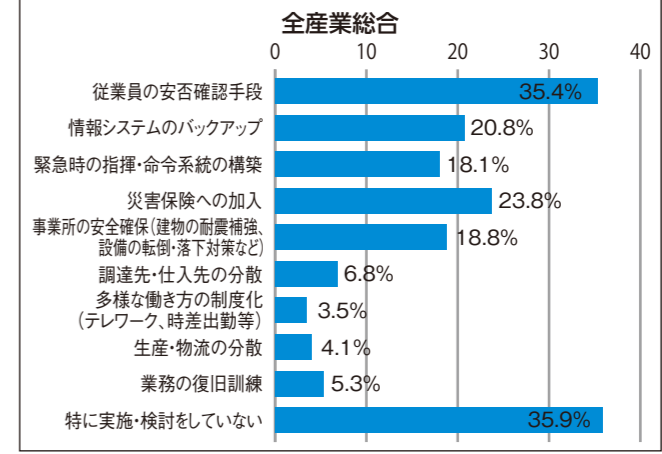
「BCP策定に必要なスキル・ノウハウがない」が最も多い結果となった。BCPには、リスク評価やビジネスプロセスの分析、代替手段の検討などが含まれ、策定に必要なスキル・ノウハウが必要となる。企業内にスキルやノウハウが不足していることが分かった。

6. サイバーセキュリティ対策の必要性についてどのように考えていますか



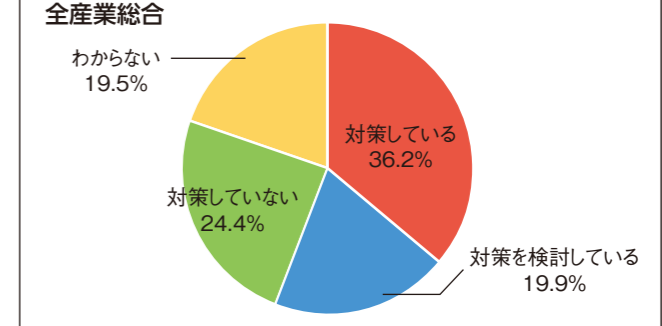
サイバーセキュリティ対策について、「非常に必要」「ある程度必要」の合計が60.3%の結果となり、サイバーセキュリティへの注目度の高さが窺える。

5. 事業中断リスクに備えた施策や検討内容について教えてください（複数回答）



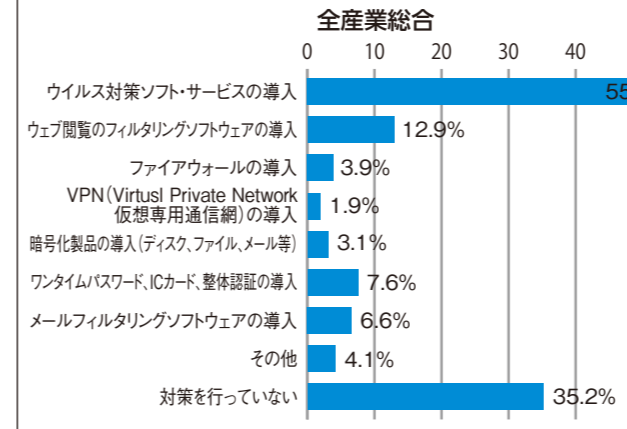
「従業員の安否確認手段」が35.4%の結果となり、事業を再開させるには、まず従業員の安否情報について把握を行いたい意向が窺える。

7. 現在、サイバーセキュリティ対策を行っていますか



「対策をしている」「対策を検討している」の合計が56.1%の結果となった。デジタル技術の発展によるサイバー攻撃の脅威が増大している現代社会において、企業が直面するリスクを多くの企業が認識していることが分かる。

8. サイバーセキュリティ対策についてどのような対策を行っていますか（複数回答可）



サイバーセキュリティ対策として「ウイルス対策ソフト・サービスの導入」を行っている回答が最も多い結果となった。一方、他の対策については導入が進んでいない状況が窺え、また「対策を行っていない」も35.2%を占め、サイバーセキュリティ対策についてまだ進んでいないことが窺える。

サイバーセキュリティは個人情報や重要なデータの保護、事業の持続性確保など、幅広いリスクに関わる重要テーマとなる。今後も企業にはサイバーセキュリティ対策を意識し、適切な対策を講じることが求められる。